

評価概要

「議員活動の自己評価」

令和2年度分（令和2年4月～令和3年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で16回目となります。右表の5主要指針について具体的に取組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の166項目中、「○ほぼ満足」は63件で38%、「△努力が必要」は94件で57%、「▲さらに努力が必要」は9件で5%となりました。

次に、「成果の評価」については、項目全体の166項目中、「○ほぼ満足」は38件で23%、「△努力が必要」は81件で49%、「▲さらに努力が必要」は47件で28%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が38%であるが、成果の評価では23%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取組みが今まで以上に成果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、2名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施しています。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

○議員別の評価集計

議員名	花田 勇		佐藤 孝男		平沼 昌平		木村 隆		川村 明雄	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	7	3	11	10	6	1	7	6	5	2
△ 努力が必要	2	4	1	3	8	11	6	6	16	13
▲ さらに努力が必要	0	2	2	1	2	4	0	1	1	7
計	9	9	14	14	16	16	13	13	22	22

議員名	杉村 志朗		藤山 大		小鹿 昭義		平野 隆雄		溝部 幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	2	0	14	9	6	1	4	0	1	2	63	38
△ 努力が必要	6	5	4	9	7	6	13	13	31	13	94	81
▲ さらに努力が必要	1	4	0	0	0	6	1	5	2	19	9	47
計	9	9	18	18	13	13	18	18	34	34	166	166

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「成果」＝成果の評価〕

○議員個人としての活動

	花田 勇	溝部 幸基
報告会等の実施	1	1
議員だよりの発行	—	—
個人ホームページの開設	—	○
その他	—	—



●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、10名の議員で総数172項目（昨年度：10名提出 166項目）となりました。

【個人票はP32～P35に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：令和2年4月～令和3年3月

花田 勇 80歳

総務教育常任副委員長、
議会運営副委員長、議会選出監査委員
議員歴10年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	若者が定住できる雇用の場の創出	△	△
	第2青函トンネル実現に向けた提言	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
財政	第5次総合計画後期計画4年間について財政健全化を考えながらの推進を提言	○	○
経済	養殖事業（昆布・アワビ等）のブランド化の推進を提言	○	○
	観光（青の洞窟）の充実を提言	○	○
福祉	ガン検診の受診を町民にさらにアピール	○	△
	高齢者の通院バスの確立について提言	○	▲
教育	少子化による小中一貫の教育に向けた提言	△	▲
その他	道の駅や温泉施設の改修か新築かについての提言	○	△

佐藤 孝男 74歳

経済福祉常任委員長、議会運営委員、
渡島西部広域事務組合議会議員
議員歴26年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	チャレンジスピリット応援制度の有効利用と強化	○	△
	大型公共施設の整備と改修を提言（福祉センター、吉岡温泉ゆとらぎ館）	○	○
財政	財政健全化の推進（基金有効活用）	○	○
	総合計画の推進とチェック強化	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成	○	○
	ほだ木確保のため町有林の調査、作業路の整備推進	○	▲
福祉	デマンドバス利用料金見直し、利用促進	△	○
	予防医療の推進	○	○
教育	学校給食での地場産作物利用強化	○	○
	福島商業高等学校存続強化、募集の見直し	▲	○
その他	食育の取り組み、体験学習の実施	▲	△
	第2青函トンネル構想に向けての推進	○	△
	各産業団体との懇談会の実施。現場へ出向いて生の声を聞き、議会活動に役立てる	○	○
	各種行事の積極的な参加	○	○

平 沼 昌 平 65歳

議会運営委員長、経済福祉常任委員、
渡島廃棄物処理広域連合議会議員
議員歴16年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	職員の効率的作業体制と町民との意思疎通に対する提言	○	△
	雇用の場の創出と定住対策について	△	▲
財政	わかりやすい資料の作成とIT化による資料の作成に対し提言	△	△
	効率的な事務事業の提言と検証から経費節減の提言	△	△
経済	昆布養殖事業に対しての将来的作業体制の在り方と方向性の提言	△	▲
	水産加工業の新たな商品開発と機械化そして雇用の確保の提言	▲	▲
	農林水の一次産業の基盤整備と将来的方向性に対する提言	▲	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	観光業の多面的（場所・食・歴史、等）な活路の提言	△	△
福祉	高齢化に向けての自助、共助、公助に対しての提言	○	○
	健康な街づくりに向けた医療機関の充実と感染予防に対する危機管理と災害対応に向けた取り組みについての提言	○	△
教育	子育て環境の充実と保護者に対する充実したサポートの提言	△	△
	社会教育的観点から郷土の再認識と町民意識の向上の提言	○	△
	IT教育環境の整備と体制づくり・活用の充実に対する提言	△	△
その他	人口減対策としての2025、2040年に向けて（※）の対応と危機管理を持ってまずは現状の認識と今後の方策に取り組む姿勢づくりの提言	○	△
	第2青函トンネルの情報を当町主体で全国に発信する	○	△
	前浜漁業環境の整備と漁獲向上に対する提言	△	△

木村 隆 41歳

総務教育常任委員
議員歴14年

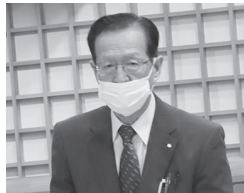


分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	新型コロナウイルス感染予防対策	○	○
	道の駅、答申に伴う方向性	△	▲
財政	新型コロナウイルス対策に伴う財政出動	○	○
	新型コロナウイルス終息後の景気対策	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	コンプ作業の効率を上げる情報収集	△	△
	スルメ原料輸入等の確保政策	△	△
	改良住宅建て替え計画の注視	○	○
福祉	介護従事者の作業効率を上げる仕組み作り	○	△
教育	新型コロナウイルス終息後の学校教育	△	△
	高校存続の在り方	○	○
	英語・プログラミング等2020教育（※）の推進	○	○
その他	第2青函トンネル構想の推進	○	○
	若い人を町に戻す取り組み、政策	△	△

川村明雄 75歳

総務教育常任委員長、議会運営委員
議員歴13年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の推進強化	△	△
	松前半島道路の計画推進と世論喚起	△	▲
	まちづくり視点からの空き家対策の推進	△	△
財政	費用対効果からの視点探求	△	△
	町内経済活性化視点からの調査探求	△	△
	各基金の有効活用視点の探求	△	▲
経済	新型コロナウイルス対策と町内経済の維持促進	△	△
	地場産品のブランド化への挑戦視点の提言	△	△
	農業、林産業への視点強化対策	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	高齢者等への交通維持対策の考察	○	△
	道内でも超高齢化の現状にある視点からの福祉対策	△	△
	福祉関係に精通する人材育成強化施策	△	△
教育	福島商業高等学校存続の構想等抜本的対策の推進	○	△
	学校教員の働き方改革への考察提言	△	▲
	読み（英語）書き（書道）算盤（ソロバン）視点の理解	△	▲
その他	町民要望に対する考察、実現	○	○
	ボランティア・文化活動の推進	○	○
	岩部地区の観光視点からの考察提言	○	△
	当町定住対策歓迎体制の町民理解の醸成強化	△	△
	児童生徒を持つ外国人世帯の受け入れ態勢の考察	▲	▲
	水道条例見直し提言	△	▲
	墓地公園管理関係への提言	△	▲

杉村志朗 72歳

総務教育常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議員
議員歴22年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	△	△
	道の駅の早期方向性	▲	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
財政	一次産業の経営安定化	○	△
	安心できる財政健全化の推進	○	△
経済	陸上養殖（アワビ）安定化の推進	△	△
福祉	過疎対策・人口減少問題・高齢者の安心居住問題	△	▲
教育	福島商業高等学校存続体制の推進	△	△
その他	他町に誇れる花等の美化運動	△	▲
	クルーズ船に対応した岩部地区公衆トイレ設置の実現	△	▲

藤山 大 46歳

経済福祉常任副委員長
議員歴8年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	○	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	△	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	○	○
経済	一次産業のさらなる発展への提言	○	△
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	○	○
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）	○	○
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
教育	福島商業高等学校存続対策と商業高校を活かした新たなクラブ活動のあり方	○	○
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	○	○
その他	今後の「道の駅」のあり方（新設なら温泉・福祉センターを含めた新たな「道の駅」構想）	○	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果が期待できるイベント集客力を目指すための提言	○	○
	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	○	○
	自分から「できる事」一歩宣言 インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter）	○	△

小鹿昭義 68歳

経済福祉常任委員、議会運営委員
議員歴1年

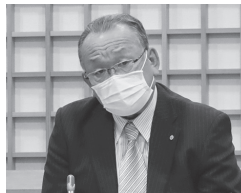


分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	○	▲
	新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言	△	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	○	△
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	△	▲
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	△	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	○	▲
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	健康で働く意欲の旺盛な高齢者のためにシルバー人材センター開設を提言	○	▲
教育	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	▲
	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	▲
その他	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	○

平野隆雄 72歳

副議長、広報・広聴常任委員長、総務教育・経済福祉常任委員、渡島廃棄物処理広域連合議会議員
議員歴25年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	○	▲
	町内景気の活性化推進	△	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
財政	財政調整基金の活用	△	△
	町立診療所運営の健全経営実現	△	△
	各町内会館の再編推進	△	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	蝦夷アワビ（養殖）の新たな商品開発推進	△	▲
	スルメ加工以外の商品開発推進	▲	▲
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	△	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館の利用増提言	△	△
	がん検診の検診率向上推進	△	△
教育	少子化の中の教育行政推進	△	△
	学芸員配置で縄文土器等による町づくり	△	▲
その他	福島商業高等学校入学増の推進	△	△
	学校等における相撲人口増で横綱の里推進	○	△
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	○	△
	伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進	△	▲

溝部 幸基 73歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議長
議員歴40年



分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (各種計画に関する提言・検証)	△	△
	自律、協働の「小規模多機能自治(※1)」に関する調査研修	△	▲
	「公契約条例(※2)」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等)	△	▲
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等:危機管理に関する研修)	△	△
	「平和の町宣言」に関する調査研修	△	△
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	△	▲
	選挙運動費用公費負担制度(※3)の検証	○	○
財政	財政健全化への取り組み (予算・決算審査・行政評価充実:基金の有効活用)	△	△
	特別職退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	地方自治法改正による監査制度の検証 (議選監査委員・議会監査の在り方)	▲	▲
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	▲
	異業種連携による「福島ブランド」の開発 (ブランド化システムの再検討)	△	▲
	地場製品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取り組む産業公团的仕組みづくりの調査研修	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修	△	▲
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	△	▲
	予防医療の推進	△	▲
	在宅介護支援体制の整備	△	▲
	簡易水道料金の見直し(用途別基本水量・水道料金)	△	△
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修	△	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	▲
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集)	△	▲
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
	食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)	△	△
	わかりやすく、町民が参画できる議会の実現 (議会基本条例の周知)	△	△
その他	活発な討議(討論)ができる議会の実現	△	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	町議会議員選挙への供託金制度導入(※4)	△	○
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△
	視察の積極的な受け入れ(七飯町議会、取材:山形県さくらぼTV・北海道新聞)	△	△
	ホームページの充実 (提案・情報発信・参加型)	△	△
	各種行事、研修への積極的な参加(全国市町村国際文化研究所出講:住民参加・情報公開を進める取組み:滋賀県大津市)	△	△

これってどういう意味?

P28 平沼議員 ※「2025・2040問題」

2025年に団塊の世代が後期高齢者(75歳)になり、2040年には65歳以上の人口がピークを迎え、人口減少も進んでいく。(福島町人口ビジョンによる2040年の推計人口は1,741人)

P29 木村議員 ※「2020年教育改革」

新学習指導要領が導入され、小学校でプログラミング教育の必修化、5・6年生の「外国語教科」が新設され、生徒が主体的に対話しコミュニケーションをとる授業方式(アクティブラーニング)も取り入れられる。

大学入試センター試験の記述式変更など学校教育が大きく変わる。

P31 溝部議長 ※1「小規模多機能自治」

小さい区域で住民や地域の団体が集まって、地域課題を解決し、地域を運営していく仕組みのこと。

P31 溝部議長 ※2「公契約条例」

町が民間企業と契約を結ぶにあたり、各企業間での競争による価格の低下に伴う労働条件の悪化を防ぐために定める条例。

P31 溝部議長 ※3「選挙運動費用公費負担制度」

立候補しようとする人の金銭的な負担を減らし、資産の多少に関わらず立候補や選挙運動の機会を均等に持てるようにする制度。

P31 溝部議長 ※4「議会議員選挙への供託金制度」

選挙に立候補する際に、法務局等へ決められた金額または金額相当の国債証書を支払う。当選もしくは決められた得票数以上であれば返還され、達していない場合は没収される。

現在の公職選挙法では、町長選挙には50万円とされているが、町村議会議員選挙でも公職選挙法が改正され、次回から15万円供託することとなりました。

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：令和3年4月～令和4年3月

〔花田 勇〕



分野	具体的な目標項目
行政	町民に対する行政サービスの質の向上
	防災における危機管理の充実
	災害弱者に対する福祉の提言

分野	具体的な目標項目
財政	第5次総合計画後期計画4年間は大きな財源が必要になる。このため健全な財政運営を提言
経済	養殖事業（昆布・陸上養殖アワビ）等の更なる生産増について努力
福祉	高齢化が進む福島町において高齢者医療の充実に努力 町民のガン検診受診者の増に努力
教育	福島商業高等学校の道内外からの生徒募集には何が必要なのかを提言 少子化が進む中で、小中一貫校を提言
その他	「福島町を観光の街に」が、町を活性化する道と考える 一般社団法人福島町まちづくり工房の岩部クルーズを中心に、各記念館や養殖アワビ等の食を合わせた集客に努力

〔佐藤 孝男〕



分野	具体的な目標項目
行政	若者定住対策と雇用対策
	大型公共施設の整備と改修の提言
財政	財政健全化の推進（基金の有効利用）
	各種事業の検証
経済	陸上養殖アワビ販売と商品開発の推進
	一次産業の振興と新規就業者の育成

分野	具体的な目標項目
経済	ほだ木確保のため町有林調査、作業路の整備
福祉	社会福祉協議会の健全運営の調査と提言
	予防医療の推進 吉岡温泉早期新築の提言
教育	給食センターでの地場作物の利用強化
	福島商業高等学校存続対策の推進
その他	第2青函トンネル構想に向けての推進
	松前半島高規格道路整備の推進 各種行事の積極的参加

〔平沼 昌平〕



分野	具体的な目標項目
行政	雇用の場の創出と定住、多拠点としての移住促進の提言 IT化による行政資料の簡略化と町内外での活用についての提言
	将来的雇用人口減による外国人研修生受け入れの体制整備の提言
財政	効率的な事務事業の提言と検証。それらに伴う、更なる提言
	歳入歳出予算の算出根拠に対する検証と確認等に伴う提言
経済	新たな養殖事業の模索と高齢化を視野に入れた前浜漁業の模索提言

分野	具体的な目標項目
経済	農林水産業の少量高価値製品の1次から6次化産業の模索と町内雇用の創出に対する提言
	商工・観光の両面による町内経済活性化の提言と地場製品の開発に対する提言
福祉	人口減少から来る自助・共助・公助の在り方と行政事業に対する再確認。また、将来的な高齢者福祉事業の進め方について提言
	ウイルス、地震、異常気象による洪水等の災害に対する危機管理から来る対応について提言
教育	小学校統廃合に対する環境整備と小学校教育環境の充実に提言
	小中高一貫校的環境整備と充実したIT化。国際力のある環境の提言 子育て環境に対する共助環境の充実と公助の在り方等検証と提言
その他	定例会前の勉強会の充実と議会活動の広域化
	第2青函トンネル実現に向けた活動と町内外に向けた情報発信活動 松前・福島間の新たな広域道路建設の提言

〔木村 隆〕



分野	具体的な目標項目
行政	産学官の新たな展開、調査
	地域起こし協力隊の新たな可能性
財政	コロナ感染予防、景気対策等財政出動
	ふるさと納税向上の取り組み
経済	子育て住宅などの注視

分野	具体的な目標項目
経済	新種苗センター等育てる漁業政策
	コロナの影響による外国人実習生の情報収集
福祉	コロナワクチン対策
	保育士等子育て人材の確保 吉岡温泉建替えの注視
教育	高校魅力向上政策
	プログラミング講座の注視 中学校教科書改訂の対策（英語、ALT）
その他	第2青函トンネル構想推進

〔川村 明雄〕



分野	具体的な目標項目
行政	松前半島道路計画推進
	第2青函トンネル構想の推進
	道の駅構想への考察提言
財政	各基金の有効活用
	町内経済活性化対策
	コロナ禍にあり「入るを量りて出ざるを為す」(※) 視点注視
経済	各種産業の維持発展施行

分野	具体的な目標項目
経済	林産業の開発促進
	地場産品の開発、ブランド化対策
福祉	高度福祉対策への人材育成
	高齢者の定住維持対策 超高齢化へのあるべき福祉対策の考察
教育	福島商業高等学校の存続維持対策
	教員の働き方対策 小中高一貫教育の魅力ある学習の考察
その他	町民要望に対する即時対応
	若者・外国人世帯の受け入れ対策
	若年層の文化活動の推進
	本公約の他これまで掲げた公約の点検、実現考察 観光視点でのまちづくりへの町民理解と意識醸成 中古住宅利活用対策の考察

〔杉村 志朗〕



分野	具体的な目標項目
行政	新型コロナウイルス感染症対策徹底の実現
	異常な積雪による高齢者への配慮の対応
財政	町立診療所運営の健全化体制の確立

分野	具体的な目標項目
財政	町民が安心できる財政の健全化の取り組み
経済	種苗生産施設整備基本構想の推進
	滞在型の体験観光旅行（岩部クルーズと提携）
福祉	高齢化と人口減少問題の支援
	思いやりのある高齢者への福祉対策
教育	福島商業高等学校入学者に対する継続的、安心な運営
	小中学生のスポーツ活動の支援
その他	空家住宅の計画的減少対策
	他町に誇れる花・花壇の美化対応 運転免許証返納者への対応

〔藤山 大〕



分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
財政	優先順位を持った財政運営の推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成

分野	具体的な目標項目
経済	新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	福島商業高等学校存続対策
	今後の小学校のあり方（福島小学校と吉岡小学校の統合） 文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）
その他	今後の「道の駅」のあり方
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	松前半島高規格道路整備の推進
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等） インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter、Zoom）

〔小鹿昭義〕



分野	具体的な目標項目
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言
	第2青函トンネルの構想実現
	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進

分野	具体的な目標項目
経済	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む

〔平野隆雄〕



分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進の実現へ
	町内景気の活性化推進で交流人口増
	福島川改修事業の早期実現
財政	財政調整基金の活用
	町立診療所運営の健全経営実現
	各町内会館の再編推進

分野	具体的な目標項目
経済	養殖コンブ製品増の推進
	蝦夷アワビ（養殖）の新たな商品開発推進
	スルメ加工以外の商品開発推進
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館新築の早期実現へ
	がん検診の検診率向上推進
教育	少子化の中の教育行政推進
	学芸員配置で縄文土器等による町づくりで交流人口増
	福島商業高等学校入学増の推進
その他	学校等における相撲人口増で横綱の里推進
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進 伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進

〔 溝 部 幸 基 〕



分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (各種計画に関する提言・検証)
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査
	「公契約条例」に関する調査研修
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等)
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)
	「平和の町宣言」に関する調査研修
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進
財政	財政健全化への取り組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)
	退職手当制度の抜本的改善
	監査制度改正の検証(議選監査委員・議会監査の在り方)
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発 (ブランド化システムの再検討)
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業公社の仕組みづくりの調査研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修

分野	具体的な目標項目
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査
	「健康な町づくり」(全町的取組)で医療費の節減
	公立診療所の在り方に関する調査研修
	在宅介護支援体制の整備
教育	簡易水道料金の見直し(用途別基本水量・水道料金)
	小中学校一貫教育、コミュニティスクールに関する調査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)
その他	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現 (議会基本条例の周知)
	活発な討議(討論)ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実(提案・情報発信・参加型)
各種行事、研修への積極的な参加	

これってどういう意味？

P33 川村議員 ※「入るを量りて出ざるを為す」
収入がどれくらいあるか計算して、それに釣り合った支出を行うこと。

第2青函トンネル実現に向けて描く
3つの構想

“第2青函トンネルに期待する事”

- 1 新幹線本来の高速走行の実現
青函トンネルが本来の目的である新幹線専用となるため、新幹線の最大能力が発揮できるようになり、東北一丸範囲の距離短縮が可能である。
- 2 オール北海道の振興及び経済の底上げ
本構想の実現を機に、日本最大の食料産地としての北海道のポテンシャルをこれまで以上に活かすことが期待できる。
また、東北振興及び本州との経済的連携が深まり、北海道全体の経済的発展が期待できる。
- 3 交流人口及び関係人口の拡大
交流アクセスが機動的に向上することにより、国内外の観光客増大が見込まれ、北海道各地域の人的交流の活性化が期待できる。

オール北海道の振興のため、まずは自分たちが声を出して
第2青函トンネル整備の機運を高めたい。

公団 溝部 幸基 議員

第2青函トンネル構想を実現する会
事務局 福島町役場総務課
☎ 0119-47-5007
✉ kikunostown.fukushima.hokkaido.jp
〒994-1302 福島県福島市東山町1-13-10 第2青函トンネル構想推進センター
TEL 0119-47-5007 FAX 0119-47-5008

北海道福島町

実現させたい
夢がある

津軽海峡に新たな
青函トンネルを。

『第2青函トンネルの実現を目指す』

各議員の目標で1番多かったのは「第2青函トンネル構想の実現」に関するものでした。
(写真は第2青函トンネル構想を実現する会で作成したパンフレット)